

平成 22 年 7 月 15 日

雪印メグミルク株式会社  
平成 22 年 7 月  
《第 28 回日本骨代謝学会学術集会》  
研究発表  
「乳塩基性タンパク質は、関節リウマチ患者の  
ビスフォスフォネートによる  
骨密度増加効果を回復させる」

雪印メグミルク株式会社(本社:東京都新宿区 代表取締役社長:高野瀬 忠明)は、グループメッセージ「未来は、ミルクの中にある。」に基づき、「おいしさ」と「健康」を追求するための研究を行っております。

これらの研究の一環として、このたび、乳塩基性タンパク質(MBP®)は、関節リウマチ関連骨粗鬆症治療における骨粗鬆症治療薬ビスフォスフォネート\*によるビタミンD<sub>3</sub>の併用療法によって骨密度の改善が不十分であった患者に対し、骨密度増加効果を回復させることを、ながさき内科・リウマチ科病院ならびにビーンスターク・スノー株式会社との共同研究により見出しました。

この研究成果について、7月21日から東京都新宿区にて開催される、第28回日本骨代謝学会学術集会において下記のとおり研究発表いたしますので、ご案内申し上げます。

記

### 研究発表概要

- 演題名** 乳塩基性タンパク質は、関節リウマチ患者のビスフォスフォネートによる骨密度増加効果を回復させる
- 発表者** 藤山 薫、坪井 雅彦(ながさき内科・リウマチ科病院)  
山村 淳一(ビーンスターク・スノー株式会社)  
小林 敏也(雪印メグミルク株式会社)
- 発表日時** 7月21日(火) 13時00分より  
(演題番号 P1-44 ポスター発表)

## **研究発表内容の要約**

乳塩基性タンパク質（MBP®）は、牛乳に含まれるタンパク質画分です。当社ではこれまで、MBP® に骨密度を高める効果があることを見出し、報告してまいりました。今回さらに、続発性骨粗鬆症である関節リウマチ関連骨粗鬆症における薬物治療への MBP®の併用効果を検討いたしました。

その結果、ビスフォスフォネート\*とビタミンD<sub>3</sub>の併用療法によっても骨密度の改善が不十分であった関節リウマチ患者において、MBP®摂取前の1年間とMBP®を1年間摂取した期間における骨密度の変化率を比較したところ、MBP®による介入で骨密度増加率が改善することが示されました。

今回の結果より、MBP®は、関節リウマチ患者に生じた続発性骨粗鬆症におけるビスフォスフォネートの骨密度増加効果を回復させる可能性があると考えられました。

\* ビスフォスフォネート：代表的な骨粗鬆症治療薬。

## **学会開催概要**

第28回日本骨代謝学会学術集会

**会期** 平成22年7月21日（水）～23日（金）

**会場** 京王プラザホテル（東京都新宿区）

以上

本件に関するお問い合わせ先
雪印メグミルク株式会社 広報部 TEL 03-3226-2124 FAX 03-3226-2150